

2014年10月30日

報道関係各位

三菱地所株式会社

米国大手不動産ファンド運用会社 TA Realty を買収

～グローバル規模での投資マネジメント事業の展開により、
多様な投資資金の運用機会を提供、飛躍的な事業成長へ～

三菱地所は、米国子会社のロックフェラーグループインターナショナル社（Rockefeller Group International, Inc.、以下、「RGI社」といいます。）を通じ、米国において不動産ファンドの運用業務を展開する TA Realty LLC（以下、「TA Realty社」といいます。）の出資持分を取得し、同社を子会社化することと致しましたので、お知らせします。

TA Realty社は、1982年に設立されて以来、全米35都市におけるオフィス、物流施設、住宅、商業施設等、多様な不動産を投資対象とした不動産ファンドのマネジメント業務を展開している全米でも有数の不動産投資マネジメント会社です。経験豊富な人材を擁する同社は、公的年金や企業年金等、幅広い層の投資家から資金を集め、これまで10本の旗艦ファンドなどを組成・運用しており、現在、その運用総額は約1.3兆円に及びます。本買収を通じ、当社グループは、TA Realty社の旗艦ファンドなどの既存事業の投資家からの支持を一層強固にすると共に、自己資金投資とのシナジーも追求しながら、米国における投資マネジメント事業の戦略的な強化を進めます。

三菱地所グループは、不動産ファンドの運用を行う投資マネジメント事業をグループ内における重要な事業の一つと位置付け、国内ではジャパンリアルエステイト投資法人の資産運用会社であるジャパンリアルエステイトアセットマネジメント株式会社及び三菱地所投資顧問株式会社が順調に成長してまいりました。海外でも2010年にRGI社を通じ欧州にて投資マネジメント事業を展開するEuropa Capital Group社を子会社化しました。2011年に策定した中長期経営計画「BREAKTHROUGH 2020」では、2020年時点におけるグローバル規模での運用資産を総額5兆円とすることを目標として掲げており、本買収により運用資産総額は3.3兆円に達し、その約半分を海外が占めることとなります。

今後は、これまで培ってきた不動産投資の経験や知見に、30年以上に亘る事業実績を擁するTA Realty社のノウハウを加えることで、グローバルに広がりのある不動産投資商品の開発や優良な投資機会の提供を通じ、世界各国の機関投資家のグローバルな不動産投資をサポートし、延いては、投資マネジメント事業の成長を加速して参ります。

【TA Realty 社概要】

名 称	TA Realty LLC (TA リアルティ) (http://www.tarealty.com/)
所在地	28 State Street, Boston, Massachusetts, U.S.A.
代表者	Michael Ruane
事業内容	米国における私募不動産ファンド運用会社
設立年	1982 年
預かり資産残高	約 120 億ドル (2014 年 6 月末時点)
投資実績	米国各所において、累計 7,720 万 sf (約 720 万㎡) の収益用不動産と 14,600 戸の住宅への投資実績を有する
ファンド特性	全米におけるオフィス、物流施設、住宅、商業施設等、多様な不動産を投資対象としたバリュアード型のファンド及びコア型のセパレートアカウントを運用。投資対象事例は以下のとおり

物件名	115 Sansome	Westhaven at Vinings
アセットクラス	オフィス	住宅
立地	カリフォルニア州サンフランシスコ	ジョージア州アトランタ
規模	115,012sf (約 10,700 ㎡)	610 戸
外観		
物件名	I-210 Logistics Center II	Mirasol Walk
アセットクラス	物流施設	商業施設
立地	カリフォルニア州リアルト	フロリダ州パームビーチ
規模	760,100sf (約 70,600 ㎡)	82,375sf (約 7,700 ㎡)
外観		

【業績への影響】

本件が 2015 年 3 月期の当社業績 (連結) に与える影響は軽微です。